

記念式典 & 祝賀会、盛大に

60周年事業の第1弾

協会創立60周年を彩る記念式典と懇親祝賀会が、創立日の5月9日、仙台市内で開催された。記念誌（周年史）発行、記念イベントを含めた三つの基幹事業の皮切りとなる。大型連休で直前対応の時間が限られる中、役員らの周到な準備により、長年の支援に対する県民への感謝の思いと協会の存在を広くアピール。興味深いプログラムに関係



連携の必要性を確認した記念対談

者や協会会員から一般県民まで約180人が詰め掛け、幸先の良い滑り出しとなった。市戦災復興記念館記念ホールで行われた記念式典は、多様で充実した内容。吉田利弘理事長と県の芸術文化振興の元締め的な役割を担う佐々木均環境生活部長との対談、東京国立近代美術館長の小松弥生さんの講演を軸に位置付けた。

理事長の開会あいさつ、村井嘉浩県知事、郡和子仙台市長（柳津英敬文化観光局長代理・代読）、一力雅彦河北新報社代表取締役社長の祝辞に続いて、協会発展に貢献顕著な亀井文行カメイ株式会社代表取締役会長CEO、一力社長、早坂貞彦氏、大場尚文氏、雫石隆子氏の50周年以降の理事長と、昭和・平成・令和の50年前後も支援を続ける賛助会員11団体・個人の代表者に感謝状と記念品が贈られた。

対談のテーマは「宮城県芸術祭と地域の芸術文化のこれから」。理事長の問い掛けに部長が答える形で進めた。佐々木部長は、宮城の芸術文化振興に当協会の果たした役割を高く評価した上で、新県民会館の2028年度開館に言及。「日常的なにぎわい創出が目標。文化団体等との共同事業を通じ、常に新鮮で魅力的なコンテンツを提供することが重要となる」と述べ、当協会をはじめとする文化団体、芸術家との連携推進



公益社団法人
宮城県芸術協会
(郵便番号 980-0802)
仙台市青葉区二日町16-1
二日町東急ビル5-B
電話 (022) 261-7055
FAX (022) 214-5184
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
発行者 吉田利弘

題号の背後にある芸協のシンボルマーク「雲」は、様々な分野の芸術家達がふんわり集まり、巻雲のように盛り上がりつつ纏まった姿を表す。創設当初の理事安倍郁二氏によるデザイン。

の必要性を強調した。小松館長は、かつて仙台市教育長を務めた元文部官僚。「私を育んでくれる『文化』の演題で、約1時間話した。現在、籍を置く美術館の収蔵作品に触れつつ、経営の現状と楽しめる施設に向けての「対話鑑賞」等の工夫について紹介。芸術文化と復興に関する所感として、平時からのネットワークづくり、中間支援組織の重要性も訴えた。式典には、福島県芸術文化団

吉田氏、理事長に再選出 2期目、刷新・前進に決意

当協会は6月1日、仙台市福祉プラザで令和6年度定時総会を開き、新たな理事・監事の人事議案を可決、承認した。総会閉会直後の本年度第2回理事会で理事長、執行理事の選挙を行い、理事長に吉田利弘氏（絵画部）を再び選出した。吉田理事長は、転換期にある協会の現状を直視、課題を踏まえた協会の刷新に意欲を示した。

理事会はこれまで通り、理事長、執行理事（5名）の順に16名の理事による無記名投票で選出。満票（出席12名）で吉田理事長を再度、協会のけん引役に押し上げた。

吉田理事長は「再びの重責に身の引き締まる思い。協会には会員数減少と財務基盤の弱体化という二重苦の状況にある。ひるむことなく、不転換の決意で難題に取り組み」と、課題に挑む刷新的な試みへの協力を求めた。続いて執行理事として、佐藤淳（彫刻部）、西村一観（華道部）、菅原宗初（茶道部）、若柳梅京（舞踊部）、〓以上重任〓と新任の熊井雅美（洋楽部）の5氏を選出。週明けの6月3日、本年度第3回常任理事会で、協会運営を巡って率直な意見交換を実施。後日、各執行理事の担当を決めた。協会の現状を熟知した吉田理事長をトップとする執行体制で、難題を抱えた協会運営が新たなスタートを切った。（2面に新役員名簿、理事長所感）

体連合会の代表（代理・事務局長）も出席、岩手県芸術文化協会等から祝電が届いた（他に3通）。また、西村一観執行理事の生け花がステージを飾った。会場をパレスへいあんに移して開かれた祝賀会には、関係者や協会役員ら53人が出席。佐藤皖山執行理事、子息の将山会員の尺八合奏で開会。吉田理事長あいさつ、柳津文化観光局長の乾杯の発声と続き、飲食を共にしつつ語らい、懇親を深めた。

2 議案を可決、承認

令和6年度定時総会

当協会の令和6年度定時総会が6月1日、仙台市福祉プラザで開かれ、5年度事業報告及び収支決算と役員選任についての議案2件を審議。原案通り、可決、承認した。

1095名(うち委任状1036名)が出席、総会成立の定足数(正会員の過半数、843名)充足を確認した後、吉田利弘理事長が開会のあいさつ。協会創立60周年を迎えて、

新役員・名簿

◇新役員(敬称略。太字は初。カッコ内は所属・担当)

【理事長】吉田利弘(絵画)
 【執行理事】佐藤淳一(総括、彫刻)、菅原宗初(事業、茶道)、西村一観(同、華道)、熊井雅美(財務、洋楽)、若柳梅京(同、舞踊)

【理事】及川英之(絵画)、浅野治志(工芸、加納鳴鳳(書道)、佐藤象雲(同)、篠沢亜月(文芸)、西恵美子(同)、清水道玄(茶道)、加藤友一(写真) 以上各部推薦、一力雅彦(学識経験者)、亀井文行(同) 以上理事会推薦

【監事】大槻俊之(彫刻)、佐藤光郎(絵画) 以上理事会推薦

記念事業の検討・開催状況に触れ、ほぼコロナ禍前の内容での第61回宮城県芸術祭と合わせて実りある事業の実施に決意を示した上で、組織の現状に懸念を表明。「会員が年々減少し協会の先行きは厳しさを増す。あり

方万般を問い直し、持続可能な組織に向けて知恵を出し合いたい」と協力を求めた。

続いて、渋谷青龍書道部長を議長に選出。理事会で承認済みの6年度事業計画及び収支予算について報告した後、総会における承認を必要とする5年度事業

朴澤氏、名誉会員に推挙

令和5年度第4回理事会が3月18日、協会事務所で開催され、理事の朴澤一堂氏を名誉会員に推薦する議案を全会一致で承認し、本人の承諾により4月1日、就任した。

朴澤氏は華道部(本原遠州流)に所属。華道部主任(現部長)や監事、理事の協会要職を歴任、属する流派や華道界はもとより協会全体の発展に貢献した。参事の職にあり、法人運営規程に基づき、満85歳に達したのに伴

業報告及び収支決算と役員選任(理事16名、監事2名)についての議案2件を上げ、吉田理事長のほか担当執行理事が内容を説明した。収支決算に関して

は、佐藤光郎監事(絵画部)が4月16日に実施した監事会の結果に基づいて監査結果を報告。執行・処理を「適正」と認定し、第61回県芸術祭及び創立60周年記念事業の目的達成、財務体質強化への抜本的な対策の検討を求めた。

審議、採決の結果、賛成多数により、両議案とも原案通り認められた。

総会では質問・意見はなく、1時間弱で閉会した。

また、令和6年度第2回理事会

(6月1日)で、前執行理事の佐藤皖山氏(邦楽部・三曲)と前理事の太田蓮紅氏(書道部)を参事に推薦する議案を全会一致で承認した。

佐藤氏は平成28〜30年に理事、30年〜令和6年まで執行理事。太田氏は平成7年以降、部の運営委員、令和2〜6年に理事を務め、いずれも法人運営規程に基づき、参事に推薦された。両氏は定年のため、定時総会をもって理事を退任した。

再びの理事長への選出、身に余る光栄と受け止め、期待に応えられるよう全身全霊をもって務めてまいりたいと存じます。

本年度は協会創立60周年に当たります。ご承知のように1964年、宮城において民間の力で芸術祭を開催しようと、当時の県議会議長の呼び掛けに応え、県内の芸術家有志が集い、機関誌の題号になっている花山の地で立ち上げられました。

持続性の追求へ 経営刷新に専心

宮城県芸術協会 理事長 吉田 利弘

ただ、今後の協会運営につ

きましては、一路順風とはま

いらぬ実情にあります。何よ

り共に活動する会員数が減少

の一途で、皆さんの会費を主

な財源とし運営している全国

でも稀な、自負すべき組織の

先行きに影が差し込む現状に

ございます。

暗雲の払拭へ、まずは退会者

を低減する方策の検討が必

要です。そして新入会員及び

賛助会員の確保、管

理運営の効率化の推

進、浄財提供の呼び

掛け等で、財務の安

定化を図っていかね

ばなりません。こう

した打開策の構築に

より持続可能な協会

運営を進めて、とり

わけ基幹事業である芸術祭の

継続を保持し、併せて財務基

盤強化に寄与し得る事業内容

の深化・充実の探究も欠かせ

ないと考えております。

そのためにも、皆さんと共

に組織の在り方等について英

知を出し合い、経営の刷新に

一意専心、努めてまい

りますので、更なるご理解とご

協力をよろしくお願い申し上

げます。

5月恒例の共催事業「杜の

都大茶会」は、会場で衛生面

に配慮した水場確保が困難な

こと等により河北新報社の判

断で見送られました。が、芸術

祭をはじめ他の事業は、ほぼ

コロナ禍前の内容で実施でき

る見通しです。

組織に活気、

新風を期待

6 年度、新入会員は 38 名

令和 6 年度、新入会員が 3 月と 6 月開催の理事会で承認された。総数は 8 部門、38 名。会員の高齢化が急速に進んでおり、組織に新たな風を吹き込む「新人」に対する期待は大きい。

人口減少等の社会の激変を受けて、平成 16 年度以降、会員数が落ち込み続ける中、本年度新入会員は、ここ数年と同様、50 名を見込んでいる。現状、目標に達しておらず、前年度同時期の 46 名より 8 名も少なく、先行

き気掛かりなスタートとなった。入会者数の下振れは、会員総数の減少を招いて、事業・財務

両面での組織力の低下に直結し、組織の維持・発展を危うく

する。会員資格や候補者推薦の在り方の問い直しも排除せず、

組織に活気と活力を呼び込む新入会員の勧誘を一層促進し、体

制強化に努めたい。

第 60 回宮城県芸術祭の一環、第 44 回宮城県芸術協会音楽コン

クール本選が、2 月の予選に続いて 3 月 10 日（ピアノ部門）と

17 日（ヴァイオリン部門）、日

立システムズホール仙台コンサートホールで開かれた。予選にはピアノ部門 121 名、ヴァイオリン部門 55 名がエントリー。突破するなどしたそれぞれ 63 名と 58 名（予選なしも

音楽コンクール質高く ピアノに特級、年齢幅拡大

緊張の中、見事な演奏を披露した出場者



緊張の中、見事な演奏を披露した出場者

部門	氏名(本名)	住所
【絵画部】		
〈日本画〉	高橋 則子	仙台市若林区
〈洋画〉	荒井 志帆	遠田郡美里町
〈洋画〉	大友 倫章	岩沼市
〈洋画〉	佐藤 いく子	仙台市宮城野区
〈洋画〉	諏訪 堯美	仙台市泉区
〈洋画〉	高橋 正明	白石市
〈洋画〉	武内 たま子	名取市
〈洋画〉	武山 治子	仙台市青葉区
〈洋画〉	田中 和郎	仙台市泉区
〈洋画〉	宮下 チヨミ	仙台市青葉区
〈洋画〉	村上 温子	仙台市青葉区
〈洋画〉	和田 伸太郎	仙台市青葉区
【彫刻部】		
	高平 将人	仙台市青葉区
	花湖 一明	仙台市宮城野区
	保崎 裕子	仙台市泉区
【工芸部】		
〈陶芸〉	中村 浩一	仙台市宮城野区
〈漆芸〉	杉山 智一	黒川郡大和町
〈ガラス〉	川村 洋子	仙台市泉区
【書道部】		
	井上 芳香 (百合子)	岩沼市
	氏家 恵香 (久恵)	大崎市
	岡崎 蓮桜 (けい子)	仙台市泉区
	岡本 悠香 (ゆう子)	仙台市青葉区
	小野 恵苑 (恵子)	大崎市
	本間 青鴻 (香澄)	岩沼市
	三浦 敬華 (敬子)	仙台市宮城野区
【華道部】		
〈小原流〉	アレイ ウィルソン	黒川郡大和町
【文芸部】		
〈短歌〉	秋場 祐美子 (渡辺祐美子)	仙台市青葉区
〈川柳〉	太田 良喜	柴田郡大河原町
〈散文・小説〉	近藤 章子	仙台市太白区
【舞踊部】		
〈日舞〉	藤間 宝園 (帖佐礼子)	仙台市青葉区
〈日舞〉	水木 歌那夕 (小原規子)	仙台市青葉区
〈日舞〉	若柳 佳つ尋 (千葉香寿美)	登米市
〈日舞〉	若柳 梅香 (齋藤百合子)	白石市
【写真部】		
	庄子 哲郎	仙台市青葉区
	成松 和司	松山市
	星 昂秀	盛岡市
	村上 忍	仙台市青葉区
	渡辺 加津子	仙台市泉区

「アートのちから」表現 記念イベント概要固まる

創立 60 周年事業の柱の一つ、記念イベントの概要が固まった。役員らで組織する検討会議（記念イベントグループ）で協議を重ねてきたもので、「アート（芸術）のちから」を前面に掲げ、協会の今を総合的に表現し、感謝の思いを込めて広く県民に向けて情報発信する内容となる。

大きく伸ばした子どももおり、審査員をうならせた。コロナ感染対策もあり広報を控えたため、会場を埋めたのは参加関係者が大半だったが、終日、音楽性豊かな音色が響いた。（入賞者は協会 HP に掲載）

公演型の記念イベントは、10 月 6 日午後 1 時 30 分に開演。2 部構成とし、各部合同のコラボレーションプログラムを軸とする。華道、邦楽（三曲）、茶道、舞踊（日舞・洋舞）、文芸（詩・短歌・俳句・川柳）、書道、洋楽、演劇の 8 部が参加する。写真部が協力する可能性もある。

からを理念とし、①生け花デモンストレーションと三曲演奏②三曲演奏「茶の湯音頭」③日本舞踊と邦楽演奏で表現する。

第 1 部は「受け継がれるちから」をサブタイトルとする方向で、受け継ぎ次の時代に託す

第 2 部は「響き合うちから」をサブタイトルに想定。無限にある表現手法を掛け合わせ、交り合わせて響き合うちからの表現を狙いとし、①文芸と書道のコラボレーション作品による朗読と演奏②西洋舞踊とピアノ演奏③で、先行きに希望を求めるとなるもよう。

今後、各部及び各部合同の諸準備を進め、9 月 9 日に開く検討会議で詳細の詰めと計画全体を最終確認。本番に備える。

記念イベントは、協会のアピールと県民への感謝を表す絶好の機会。第 61 回宮城県芸術祭が直前の 9 月 28 日に開幕しており、開催中の展示系催事を盛り上げる意味合いも込める。

精進の賜物、70名に栄誉
芸術祭表彰式、満ちる祝意

第60回宮城県芸術祭の表彰式が令和5年12月1日、ホテルメトロポリタン仙台で行われた。各分野で入賞した会員70名と、それぞれの部門で長年の功績が認められた11名が表彰された。新型コロナウイルスの感染防止に徹底を期す等のため、今年も祝宴の開催を見送り、規模を縮小しての実施となったが、今回も茶話会を設け、表彰式に幾分「お祝いの色」を添えた。



芸術祭表彰式

第60回宮城県芸術祭入場者数等(人)

事業名	入場者数等	事業名	入場者数等
開会式	88	音楽コンクールガラコンサート	503
別荘・アート・in Sendai 2022	1,523	文学散歩	29
彫刻展・彫刻公募展	1,399	茶会	631
絵画展(公募の部)	1,399	長唄演奏会	152
絵画展(会員展)	5,036	文芸祭	92
華道展	2,327	音楽会	408
書道展	3,562	表彰式	123
工芸展	1,865	第44回音楽コンクール	428

併催事業

事業名	入場者数等
第4回社のみやこ工芸展	1,865

参加行事

事業名	入場者数等
第65回仙台三曲協会定期演奏会	269
第51回洋舞公演	870
歳末たすけ合い第60回各流舞踊大会	781

芸術祭会長で当協会の吉田利弘理事長が冒頭のあいさつで、60回目の今回、不完全ながら茶会が復活し、コロナ禍以前の事業が大半実施されたことに触れながら、無事に芸術祭をほぼ終えられる成果を強調。共催団体の理解と協力に改めて謝意を表しつつ、受賞者の努力を称賛し、心よりの祝意を述べた。

芸術祭受賞者作品展
新・旧作の対比に面白み

第60回宮城県芸術祭の受賞者作品展(絵画)が令和5年11月20~26日、東京エレクトロンホール宮城・展示室で開かれた。芸術祭賞をはじめ会員展の入賞者20名と、芸術協会賞など公募の部の入賞者9名が参加。入賞作と新作等1点ずつを出展し、現役ばかりで技量抜群の作者の秀作、58点が会場を飾った。芸術祭とは異なる空気が展

功績者表彰・名簿

◇功績者表彰を受けられた方々(敬称略)

【華道部】平石春暉(花芸安達流)【洋楽部】石川浩、柳田隆介【茶道部】佐藤宗安(表千家)、五十嵐宗知(江戸千家)、菅原桂泉(煎茶道三彩流)、石川宗悦(宗徧流)、石澤晋方(玉川遠州流)、嘉藤晋紅(同)、澤田晋緑(同)、松田晋好(同)

宮城の工芸#1(宮城県芸術協会工芸部主催)が1月25~31日、藤崎本館・美術ギャラリーで開かれた。部が初めて開く合同展示即売会で、会員の3割に相当する29人が参加し、小品を中心に計300点を出品した。華道部が協力し、作品を使っ た生け花のデモンストレーションもあり、盛り上がった。個展の開催



売上は上々、継続に弾み
「宮城の工芸#1」
初の合同展示即売会

経験が豊富で同館での実績もある鍋田尚男部長の仲介等で実現。陶磁、染織、木竹芸、七宝、ガラスなどの作品多数が会場を埋めた。スペースの関係で小品が中心だったが、多彩な芸術品を鑑賞、同時に比較的手ごろな価格で購入できるとあって、多くの来場者でにぎわった。

子ども邦楽コンサート

子どもによる和楽器のコンサート「第10回こども邦楽コンサート」が3月16日、仙台市福祉プラザふれあいホールであった。

仙台三曲協会と当協会の共催。小学生から高校生まで約70人が出演し、箏、三絃、胡弓による邦楽の響きを披露した。230名が入場、熱気があふれた。

演奏曲目は「こと絵巻(通りゃんせ)」「雪はな」「氷華二題」「箏ふたつ」など17曲。映画音楽「戦場のメリークリスマス」の和楽器バージョンもあり、来場の家族や友人らを楽しませた。



令和 6 年度事業計画

(1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

本協会を中心とし、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団、公益財団法人仙台市市民文化事業団の8団体共催により、本年で61回目となる宮城県芸術祭を開催する。

芸術祭開催期間は9月28日(土)の開会式(会場:せんだいメディアテーク)から、12月3日(火)の表彰式(会場:トークネットホール仙台)を経て、翌年3月29日(土)の音楽コンクール本選までの期間となる。各事業の詳細は次のとおり。

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
展示関係事業	写 真 展	9月28日(土)～10月1日(火)	せんだいメディアテーク
	彫 刻 展	9月28日(土)～10月1日(火)	せんだいメディアテーク
	絵 画 展	10月5日(土)～10月8日(火)	せんだいメディアテーク
	華 道 展	10月12日(土)～10月15日(火)	せんだいメディアテーク
	書 道 展	10月12日(土)～10月15日(火)	せんだいメディアテーク
演奏関係事業	音 楽 会	11月9日(土)	日立システムズホール仙台
	長 唄 演 奏 会	11月17日(日)	トークネットホール仙台
文芸関係事業	文 学 散 歩	10月3日(木)	宮城県・涌谷方面
	「宮城県文芸年鑑」発行	10月15日(火)	未定
茶 会	文 芸 祭	10月26日(土)	東京エレクトロンホール宮城
	茶 会	10月13日(日)・20日(日)	輪王寺
人材育成事業	フォトサミット in Sendai 2024	9月28日(土)～10月1日(火)	せんだいメディアテーク
	絵 画 展 (公 募 の 部)	9月28日(土)～10月1日(火)	せんだいメディアテーク
	彫 刻 公 募 展	9月28日(土)～10月1日(火)	せんだいメディアテーク
	第44回音楽コンクールガラコンサート	9月29日(日)	日立システムズホール仙台
	第45回音楽コンクール予選	2月9日(日)	日立システムズホール仙台
	第45回音楽コンクール本選	3月16日(日)・3月20日(木)・29日(土)	日立システムズホール仙台
創 立 60 周 年 事 業	写 真 セ ミ ナ ー	未定	芸術協会事務所
創 立 60 周 年 事 業	彫刻展、華道展、書道展、工芸展において、各作品展の運営の中で協会創立60周年記念事業の特別企画とワークショップを行う。		

※ 例年と同様に仙台三曲協会定期演奏会、洋舞公演、歳末たすけ合い各流舞踊大会を芸術祭参加行事とする。

(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】

多くの県民に本協会の会員による芸術作品や音楽会などを鑑賞する機会を提供することを目的として、次のとおり各事業を実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
鑑賞機会提供事業	第61回宮城県芸術祭絵画展受賞者作品展	12月3日(火)～10日(火)	東京エレクトロンホール宮城
	みやぎミュージックフェスタ	未定	未定
人材育成事業	(日本舞踊協会宮城支部共催) 第4回宮城県各流子ども舞踊大会	8月10日(土)	仙台市福祉プラザ
	(河北新報社共催)河北工芸展継承 第5回杜のみやこ工芸展	11月6日(水)～11月10日(日)	東北福祉大学ギャラリーミニモリ
	書道部による県内小中学校への講師派遣事業	10月～1月	県内小中学校
	(宮城県文化振興財団共催)定禅寺フォトコンテスト	12月上旬	東京エレクトロンホール宮城
後 援 事 業	(仙台三曲協会共催)子供の邦楽コンサート	3月30日(日)	宮城野区文化センター
	本年も「河北書道展」等に賞状や賞金等を提供するなど、本協会に申請のあった作品展や演奏会に対し、後援名義の承認、必要に応じた賞状や賞金等を提供する。(令和4年度承認実績:75件)		

※ 伝統文化体験事業として本協会と河北新報社との共催で茶道の普及啓発を目的に開催している杜の都大茶会は中止とする。

(3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

国内外の芸術総合文化団体との相互交流を図ることを目的とし、交流協議及び事業を次のとおりに実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業	こどもアール・ブリュット「WEB展覧会」	9月上旬	WEB上で公開

※東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業:本年度担当幹事地区は北海道。

(4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

本協会会員や多くの県民に参加の機会を提供する研修事業と、協会の活動状況等の発信及び会員同士の情報交換を図るための発行物の刊行を次のとおりに実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
発 行	機 関 紙 「 は な や ま 」 発 行	7・11月	年2回発行
	「 会 員 名 簿 」 発 行	7月頃	隔年発行
創 立 60 周 年 記 念 事 業	宮城県芸術協会創立60周年記念式典 第一部:記念表彰及び記念対談	5月9日(木)	仙台市震災復興記念館
	第二部:記念講演/講師:小松 弥生氏 「宮城県芸術協会六十周年史」発行	11月下旬頃	-

令和 6 年度正味財産増減予算書

(令和 6 年 4 月 1 日～7 年 3 月 31 日)

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	1,000	1,000	0	0	1,000
受取入会金	0	0	0	500,000	500,000	0	500,000	1,000,000
受取会費	0	0	0	10,595,000	10,595,000	2,655,000	6,170,000	19,420,000
事業収益	7,863,000	1,845,000	0	0	9,708,000	590,000	0	10,298,000
受取補助金等	200,000	130,000	0	0	330,000	0	0	330,000
受取負担金	13,739,000	500,000	0	0	14,239,000	0	0	14,239,000
受取寄付金	111,000	40,000	0	0	151,000	0	0	151,000
雑収益	325,000	0	0	1,000	326,000	0	0	326,000
経常収益計	22,238,000	2,515,000	0	11,097,000	35,850,000	3,245,000	6,670,000	45,765,000
(2) 経常費用								
事業費	32,614,500	4,774,500	1,539,000	0	38,928,000	3,245,000	0	42,173,000
管理費	0	0	0	0	0	0	6,569,000	6,569,000
経常費用計	32,614,500	4,774,500	1,539,000	0	38,928,000	3,245,000	6,569,000	48,742,000
当期経常増減額	△10,376,500	△ 2,259,500	△ 1,539,000	11,097,000	△ 3,078,000	0	101,000	△ 2,977,000
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	1,400,000	0	0	0	1,400,000	1,600,000	0	3,000,000
(2) 経常外費用								
経常外費用計	1,400,000	0	0	0	1,400,000	1,600,000	0	3,000,000
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	10,376,500	2,259,500	1,539,000	△14,276,000	△101,000	0	△ 101,000	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	△ 2,977,000	△ 2,977,000	0	0	△ 2,977,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	47,612,644	47,612,644	0	0	47,612,644
一般正味財産期末残高	0	0	0	44,635,644	44,635,644	0	0	44,635,644
II 指定正味財産増減の部								
一般指定財産への振替額	△ 10,000	0	0	0	△ 10,000	0	0	△ 10,000
当期指定正味財産増減額	△ 10,000	0	0	0	△ 10,000	0	0	△ 10,000
指定正味財産期首残高	80,000	0	0	0	80,000	0	0	80,000
指定正味財産期末残高	70,000	0	0	0	70,000	0	0	70,000
III 正味財産期末残高	70,000	0	0	44,635,644	44,705,644	0	0	44,705,644

公益目的事業会計事業費 (A)	[全体] 経常費用計 (B)	公益目的事業比率 (A/B)
38,928,000	48,742,000	80%

賛助に感謝 さらに精進

「令和6年度、当協会は創立60周年を迎えました。既に記念式典を終え、秋には各部連携による記念イベントの開催や記念誌（周年史）発行等も予定されており、誇らしい祝いの時を刻めましたのも、賛助会員の皆さまのお支えがあればこそであり、ここにお名前を紹介しつつ改めて感謝を申し上げます。併せて、皆さまの長年のご厚志に誠心誠意、お応えするべく会員一同、さらなる精進を重ねて、宮城の芸術文化の向上に尽くす所存でございます。第61回宮城県芸術祭は例年同様、9月に開幕いたします。節目の年の芸術の祭典であり、いつにも増して情熱を注ぎ取り組んでまいります。ご期待方々、足を運ばれますよう、心を込めてご案内を申し上げます。変わらぬご支援を糧に、地域の芸術文化の振興という創立の理念の完遂にまい進してまいります。どうぞ本年度もよろしくお願いいたします。」

（吉田利弘理事長談）

賛助会員（予定を含む）の皆さま（50音順、敬称略）

◇団体

- ▽アサヒビール株式会社南東北支社▽アストモスエネルギー株式会社東北支店▽株式会社阿部和工務店▽株式会社イサカ仙台支店▽SMBBC日興証券株式会社仙台支店▽ENEOS株式会社東北支店▽ENEOSグループ株式会社東北支店▽ENEOSグループ株式会社東北支店▽ENEOSTレーディング株式会社▽鹿島建設株式会社東北支店▽河北建設株式会社株式会社河北新報普及センター▽株式会社カメイファーマシー東北▽株式会社北日本銀行仙台支店▽キリンビール株式会社流通営業本部▽クリエイトプランニング株式会社▽クリオン株式会社東北営業所▽コクヨ東北販売株式会社▽株式会社五葉商事▽株式会社佐浦▽株式会社サンエーテック▽有限会社三届興産▽株式会社七十七銀行▽医療法人社団初心



長年の支援に感謝し表彰（右が結城氏）

- 会社のホスピタル・あおば▽住友金属鉱山シボレックス株式会社▽株式会社清月記▽有限会社清泉▽株式会社仙台銀行▽一般社団法人仙台市医師会▽株式会社仙台タクシー▽損害保険ジャパン株式会社仙台支店▽株式会社ダイフクプラスモア▽竹田公認会計士事務所▽株式会社ツノ東北支店▽株式会社ロッツプタイヤ▽株式会社電通東日本▽東京海上日動火災保険株式会社▽株式会社東北プリント▽同和興業株式会社トキコシステムソリユーションズ株式会社北日本支店▽学校法人常盤木学園▽TOPPAN株式会社東北日本事業本部▽株式会社南北▽ネッツトヨタ仙台株式会社▽株式会社バイタルネット▽株式会社橋本店▽ハリウコムユニケーションズ株式会社▽株式会社バンザイ仙台支店▽株式会社ビー・プロ▽株式会社藤崎▽富士フィルムビジネスイノベーター

- シオンジャパン株式会社宮城支社▽ふじや千舟▽プリヂストンタイヤソリユーションジャパン株式会社宮城地区本部▽株式会社マイナビ宮城支社▽有限会社松尾弦楽器▽魅知国定席花座株式会社BBI▽三井住友海上火災保険株式会社▽株式会社三井住友銀行東北法人営業部▽三井住友信託銀行株式会社仙台支店▽株式会社三菱UFJ銀行仙台支店▽三菱UFJ信託銀行株式会社仙台支店▽宮城トヨタ自動車株式会社▽宮城日産自動車株式会社▽社の都信用金庫▽矢崎エナジーシステム株式会社▽株式会社ヤマハミュージックジャパン仙台店▽株式会社ユニグラフイック青葉画荘▽有限会社緑香園茶舗▽輪王寺▽株式会社ル・プロジェ

◇個人

- ▽青木正▽朝倉秀雄▽麻生靖子▽井ヶ田製茶株式会社▽梅屋楽器店▽株式会社えかきや▽鹿

記念式典で表彰 協会に多大な貢献

5月9日の記念式典に際し当協会は、昭和・平成・令和の半世紀前後に及ぶ長期間、賛助会員として協会を支え、協会の事業運営に貢献し続けている11の団体・個人の皆さんを、事業に直接関わっている2団体などと共に表彰した。当日は賛助会員を代表して株式会社えかきや代

表取締役の結城和俊氏に感謝状と記念品（花器、会員で陶芸家・島見美由紀さん制作）を贈り、感謝の意を伝えた。

表彰を受けた賛助会員は次の方々。

- 水野喜重子様、眞砂宏様、ふじや千舟様、松枝稔様、株式会社えかきや様、西川玉林堂様、井ヶ田製茶株式会社様、よろづ園茶舗様、輪王寺様、梅屋楽器店様、有限会社緑香園茶舗様

定禅寺フォトコンテスト展

第10回定禅寺フォトコンテスト展が令和5年12月11～17日、東京エレクトロンホール宮城の展示室で開かれた。

（公財）宮城県文化振興財団との共催で、41人が130作品を応募し、うち入賞・入選の43作品（30人）が展示された。

定禅寺通は景観に優れ、四季折々に祭りが開かれており、仙台市内を代表する撮影地。回を重ね表し尽くした感もあるが、魅せ方は無限のようで、「仙台の顔」を多彩に表現していた。

文学散歩参加募集

「涌谷町の文学碑を訪ねて」

句碑を中心にした日帰りバスツアーを左記のとおり行う。

期 日…10月3日（木）
訪問先…涌谷城跡・見龍寺（伊達家墓所）・黄金山神社他
参加費…9千5百円
※申し込みは9月10日（火）まで、先着順。詳細はHP参照。

まで、先着順。詳細はHP参照。

高橋さんに河北文化賞 工芸界の発展向上に寄与

名誉会員（工芸部）で七宝作家の高橋通子さん（仙台市）が、第73回（2023年度）河北文化賞を受賞した。

高橋さんは工芸部の重鎮。金属の表面にガラス質のうわぐすりで模様を描いて焼き付ける技法を20代前半から独学で磨き、一時途絶えた「省胎七宝」を復活させた。後進の指導にも尽力。各地の講習会や中国の大学で惜しみなく伝え、伝統工芸の裾野を広げた。公募展で入賞を重ね、県芸術選奨を受けている。

七宝の世界でひたすらに高みを目指し60年余。意欲、活動は衰えず、工芸界の発展向上へのさらなる貢献が期待される。

宮城県と県教委が、「みやぎ地域クラブ活動指導者人材バンク」を創設した。公立学校における休日の部活動の地域移行に伴う指導者を確保するシステムで、当協会は地域の芸術文化普及・振興と協会の維持・発展につながるかと判断。登録への協力と呼び掛けている。

バンクシステム「みやぎキラリ☆NEST」は、子どもたちとスポーツ・文化芸術の指導者をつなぐプラットフォーム。

贈呈式は河北新報創刊記念日の1月17日、仙台市内のホテルで行われ、東北の各分野で顕著な功績を挙げた4個人1団体とともに賞を授与された。

会員の入賞・入選など

- （事務局に連絡があったもの）
- ◇第10回日展
- ◇第1科（日本画）▽入選 山和子、荒井静子
- ◇第2科（洋画）▽入選 幸子、村田洋子、吉田利弘、関根光次、志賀一男、我妻宏也
- ◇第76回塩竈市美術展
- ◇洋画の部▽塩竈市教育委員会教育長賞 堀英敏
- ◇第107回二科展
- ◇（絵画）▽会友推挙 及川寿美子、小野寺さゆり▽入選 丹野ゆき子、加藤元、畑中良二、垣内孝則、堀野京子、大山カリナ、中村たみ子
- ◇第76回二紀展
- ◇準会員賞 岩澤誠一
- ◇全日本鳥フットコンテスト B1F, 2023

県の指導者登録に協力を 学校部活動の地域移行 文化芸術の継承に期待も

ロファイルを登録して、市町村・各学校が企画・運営する事業の求人に応募、マッチングする仕組みだ。

- （生態・行動部門グランプリ）▽文部科学大臣賞 鈴木宏美
- ◇中国慈溪市博物館国際青磁アーツエンターレ展
- ◇銅賞 浅野治志
- ◇第29回大和町まほろばの風景「七ッ森」展
- ◇（絵画一般の部）▽まほろば賞 堀英敏
- ◇2024 独立春季新人選抜展
- ◇奨励賞 安達秀子
- ◇第8回新日春展 入選 奥山和子
- ◇第64回東日本伝統工芸展
- ◇（諸工芸）▽奨励賞 佐瀬たか子
- ▽入選 鍋田尚男、種澤有希子
- ◇陶芸▽入選 岩井純、橋本昌彦
- ◇第85回河北美術展
- ◇（日本画の部）▽河北賞 山本政彰
- ▽一力次郎賞 千葉勝子
- ▽東北電力賞 小泉百合子
- ▽審査員奨励賞 谷地森真理子
- ◇（洋画の部）▽河北賞 伊藤信義
- ▽青森県知事賞 佐治紅実
- ▽岩手県知事賞 堀英敏
- ▽秋田県知事賞 齋藤弘子
- ▽福島県知事賞 齋藤正和
- ▽一力一夫賞（小品枠） 及川幸子
- ▽仙台市長賞 高橋順子
- ▽宮城県教育委員会教育長賞 大友倫章
- ▽仙台市教育委員会賞 阿部正彦
- ▽一力次郎賞 鈴木雅之
- ▽東北放送

部活動の地域移行は、令和6年度以降、準備の整った市町村から順次実施。活動内容、場所、期間、時給等は、実際の求人に沿って展開される。

子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供、情操と教養を育む手助けになるほか、文化芸術の継承や次世代の育成も期待されるだけに、協会にとって事業の意義は小さくない。経験豊かで実績も十分の会員の多くの参加で盛り上げを図りたい。

謹 弔

工芸部（陶芸）新井 秀彦 殿	令和5年6月4日	茶道部（武者小路千家）	安並 妙美 殿	1月5日
宮脇 宗君 殿	令和5年7月10日	絵画部（洋画）色川 義彦 殿	1月9日	
三澤 郁翠 殿	令和5年7月13日	絵画部（洋画）高橋 昭夫 殿	1月29日	
柴崎 晃 殿	令和5年10月17日	茶道部（煎茶道三彩流）	三浦 緑風 殿	2月8日
鈴木 昱子 殿	令和5年10月25日	絵画部（洋画）	高橋 八恵子 殿	3月7日
菅野 實 殿	令和5年11月15日	文芸部（短歌）高橋 一子 殿	4月4日	
牛島 富美二 殿	令和5年12月5日	文芸部（散文・小説）	近江 静雄 殿	5月16日
大和 小舟 殿	令和5年12月17日	茶道部（武者小路千家）	齋藤 守保 殿	5月29日

編集後記

今年には国内外、「選挙」が注目を集める年。米口の大統領選や英仏印の総選挙、都知事を決める七夕選挙があり、衆院解散・総選挙の観測もある。当協会も任期満了に伴う役員改選が行われた。互選による理事長選は、満票で決着。自身を含め、全員が託した。責務に向き合う覚悟が伝わり、指導力発揮の基盤も整う。課題認識の深化から克服を図る具体の一步を。「吉田丸」の再出港に期待が膨らむもの、お任せでは先行き危うい。会員が協会の未来を熱く語り、改革の輪に加わってこそ最大の成果を得よう。さあ、心を一つに。

受 贈 書

- （ ）は寄贈者
- 『宮城の現代詩2023』（宮城県詩人会事務局）、『仙台コレクシヨン100/10000』（伊藤トオル）、『KUMANO』（伊藤トオル）

訂 正

237号7面の芸術選奨のリード部分に誤りがありました。芸術選奨、同新人賞各5名とあるのは、選奨6名、新人賞3名でした。